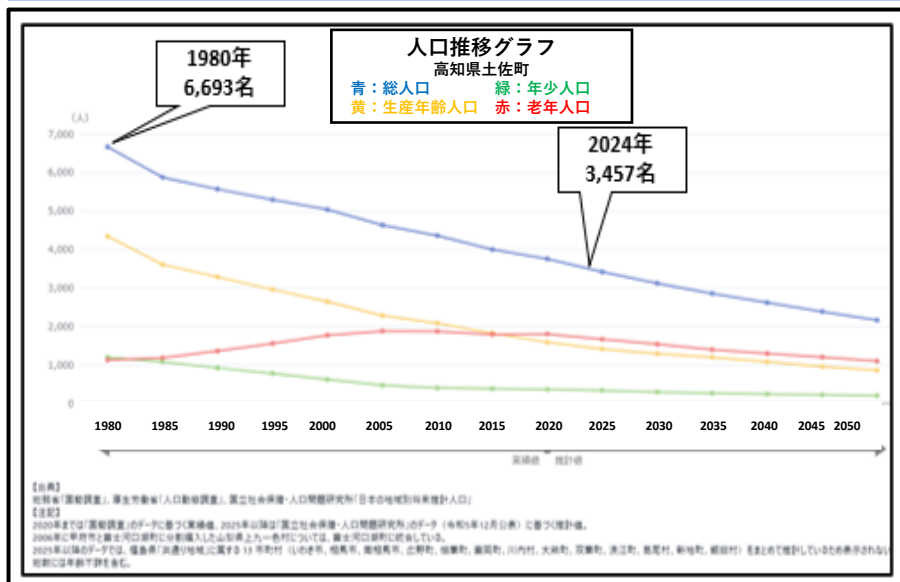


# 令和6年度高知県地域経済動向調査（人口調査）

## ①年齢別人口推移グラフ（土佐町）



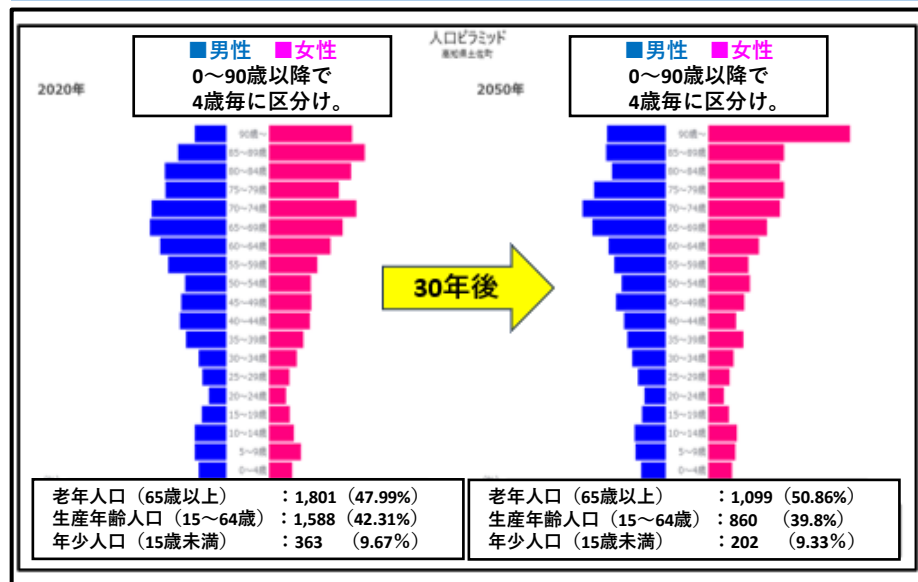
\* 総人口：全体の人口  
生産年齢人口：15歳以上～65歳未満  
年少人口：15歳未満  
老年人口：65歳以上

2024年の土佐町総人口は3,457人であり、統計当初である1980年の6,693名から比べると、48%の減少となる。

年齢別では、年少・生産年齢人口の減少と老年人口増加が目立ち、2020年以降は老年人口の減少も始まり、全区分での人口減少傾向が見られ、2050年には2,000人前後にまで減少する試算が出ている。

出典：「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保険・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

## ②人口ピラミッド（土佐町）



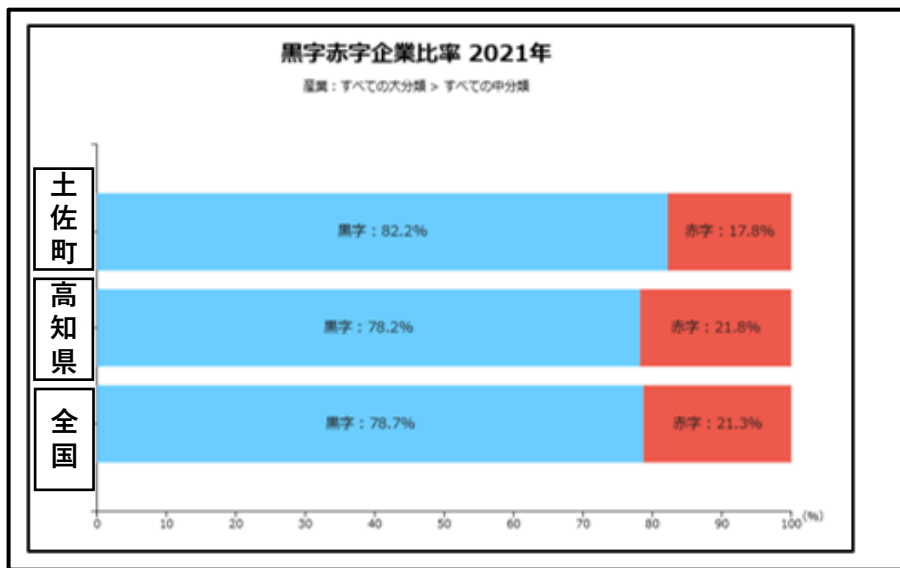
\* 総人口：全体の人口  
生産年齢人口：15歳以上～65歳未満  
年少人口：15歳未満  
老年人口：65歳以上

2020年時点と将来(2050年)の年齢別人口構成を示しており、30年間で高齢人口上昇と生産年齢及び年少人口減少が続き、老年人口が生産年齢を上回る高齢化社会が、2050年において更に拡大することが予測される。日本全体でも、同年においての高齢化率は約20%から40%に上昇している。

出典：「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保険・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

# 令和6年度高知県地域経済動向調査（企業活動マップ）

## ①黒字赤字企業比率（2021年度 土佐町）



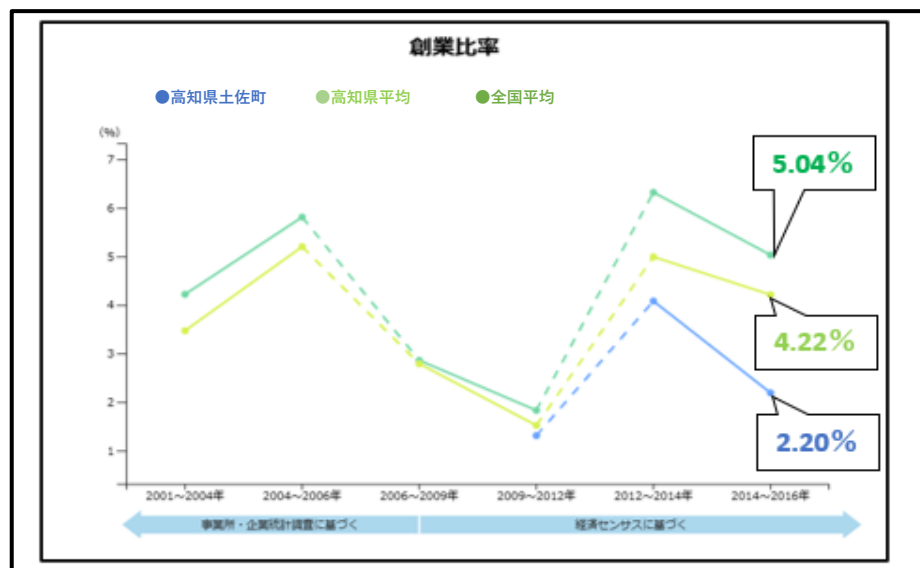
青色グラフ：地域内企業の黒字率  
 赤色グラフ：地域内企業の赤字率

地域内での法人を対象とした、「経済センサス、活動調査」により、黒字赤字企業を表記したグラフとなる。

土佐町は法人に限り、全国及び高知県の黒字平均より黒字率が高い地域となる。

出典：総務省・経済産業省「経済センサス・活動調査」加工

## ②創業比率（2014～2016年度 土佐町）



青グラフ：土佐町創業率  
 薄緑グラフ：高知県平均創業率  
 緑グラフ：全国平均創業率

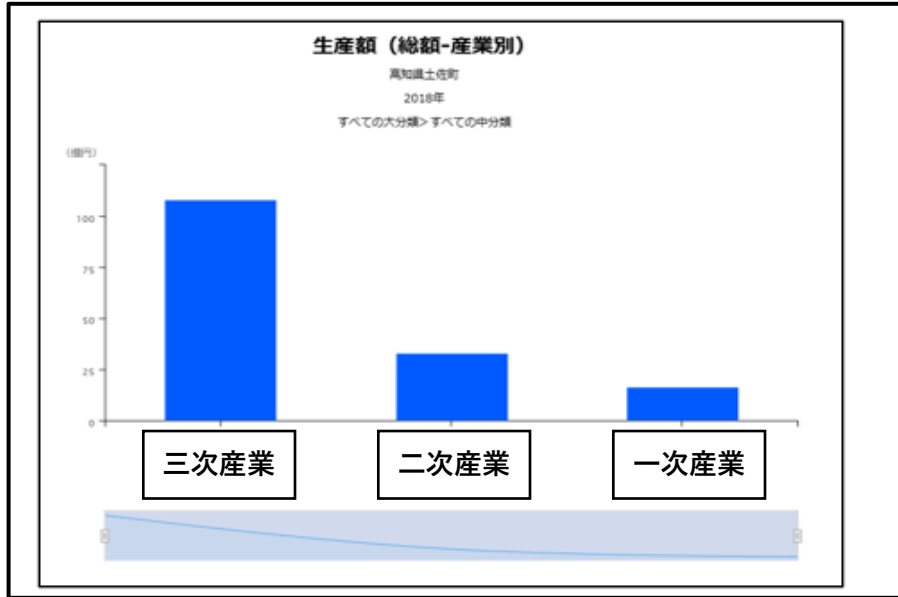
全国及び高知県と比較して、土佐町の創業率を表したグラフとなる。土佐町では、全国・高知県に比べて創業率が50%程低い結果が出ている。

調査データが近年では無いが、傾向の把握として活用し、今後は創業者を増やしていきたい。

出典：総務省「事務所・起業総括調査」、総務省「経済センサス・基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス・活動調査」

# 令和6年度高知県地域経済動向調査（地域経済循環）

## ①生産分析 生産額（2018年度 土佐町）



一次産業：農業・酪農畜産・林業・漁業等の産業  
 二次産業：鉱業・建築業・製造業等の産業  
 三次産業：商業・サービス業・外食産業等その他産業

2018年度の土佐町における各産業別の生産額を示したグラフとなる。

町内では、商工業サービス業の割合が多く、生産額合計の内、約70%を占めている。

出典：環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」  
 （株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）  
 受託作成

## ②生産分析 輸出入（2018年度 土佐町）



青色グラフ：地域外から調達している輸入超過  
 赤色グラフ：地域外から稼いでいる輸出超過

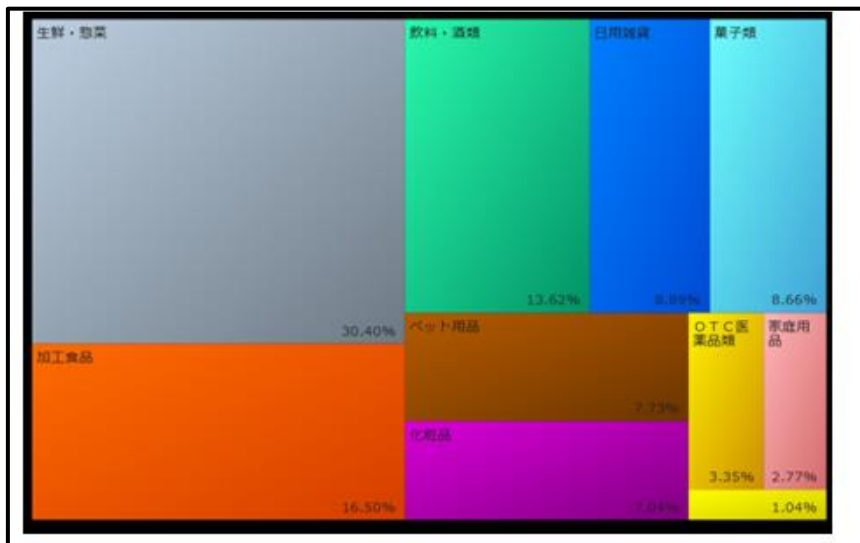
土佐町内の経済活動を生産面から分析することで、地域経済への貢献度を把握し、輸出入環境の依存度を確認することが出来る。

町内では、保健衛生・社会事業、公務、建設業が上位規模となるが、原材料・資材等が輸入超過状態の傾向が続いている。

出典：環境省「地域産業関連表」、「地域経済計算」  
 （株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）  
 受託作成

# 令和6年度高知県地域経済動向調査（消費マップ）

## ①消費の傾向（2022年度）

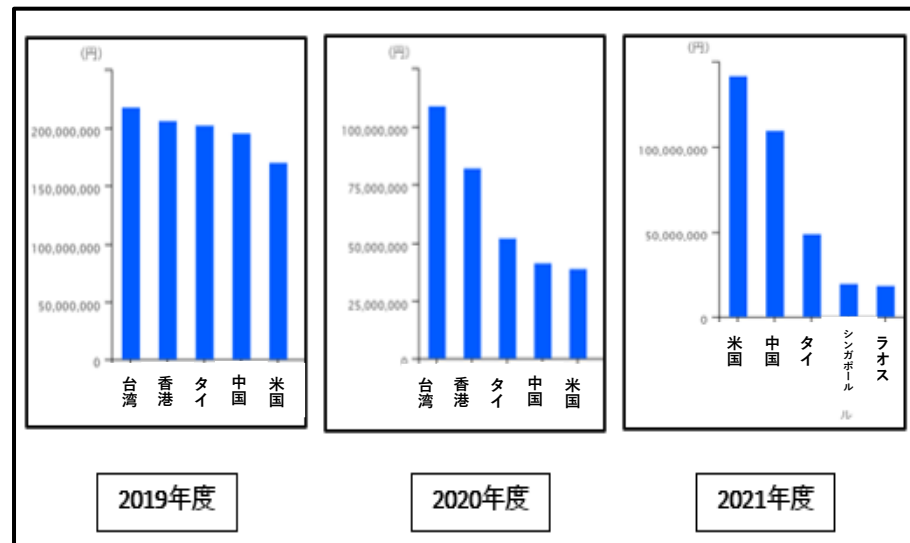


高知県全体での物品・サービス購入金額の分類表を示す。統計開始より割合の変化は少なく、日常生活に必要な生鮮・加工食品等の割合が高いことが特徴として挙げられる。

近年はペット用品の割合が少しずつ上昇しており、県内消費における重要性が増している。

出典：True Date by 株式会社True Data

## ②外国人消費の比較（2019～2021年度）



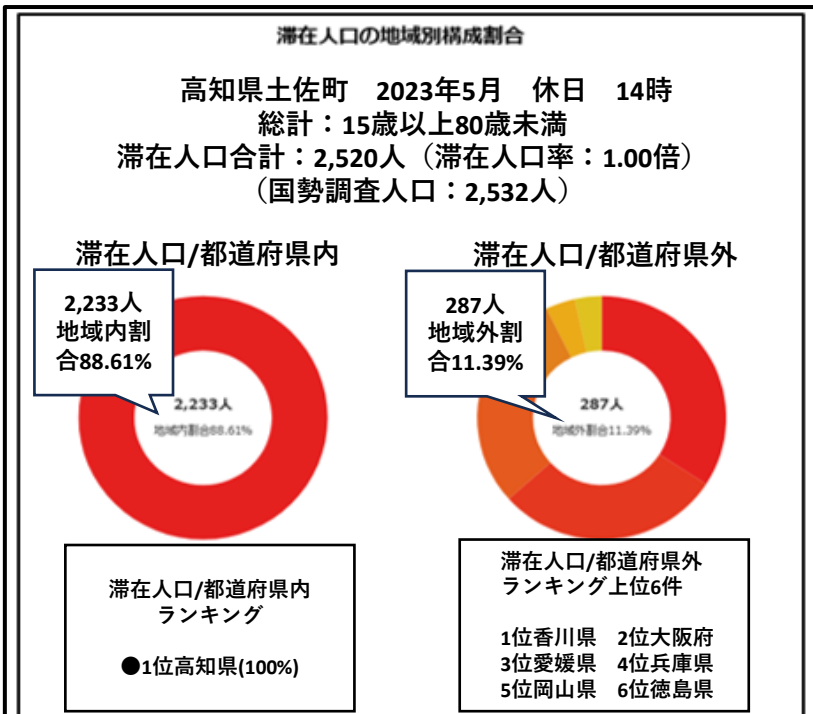
高知県への外国人訪問客が使用したクレジットカード情報から、使用金額の上位5ヶ国を3年分表示したグラフとなる。

計測時期がコロナ化であるため、1位の変動が多いが、アメリカ、中国、タイは毎年共通で、訪問数及び消費金額の上位を占めている。

出典：総務省「事業所・起業総括調査」、総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス・活動調査」

# 令和6年度土佐町地域経済動向調査（観光マップ）

## ①滞在人口（2023年5月度 土佐町）



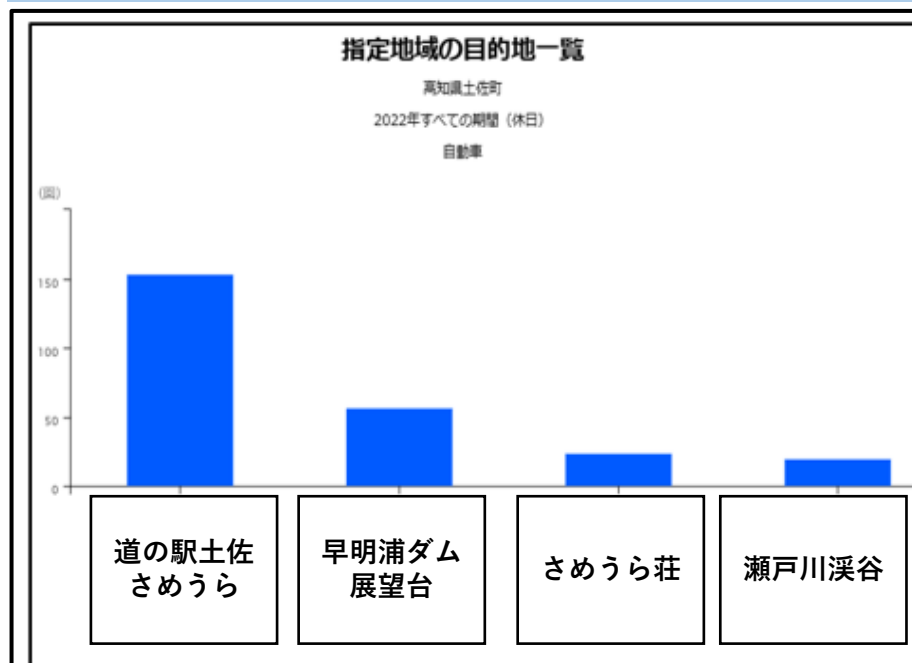
### ①滞在人口の地域別構成割合 （2023年5月度 休日14時計測）

Form-to分析では、どの地域からの来町者が多く滞在しているかを示す。

2021～2023年の調査では、年度内で5月の来町者が最多であり、県別では、香川・大阪・愛媛が常に上位を占めている。

出典：総務省「国勢調査」

## ②目的地別観光マップ（2022年度 土佐町）



### ①土佐町の目的地別観光マップ （2022年度 休日の訪問数計測）

土佐町へ訪れた際、来町者がどこを目的としているかを示す。  
近年は「道の駅土佐さめうら」が首位となっており、集客の目玉施設となっている。

出典：株式会社ナビタイムジャパン（経路検索データ）